

国立大学図書館協会新理事会  
議事要旨

日 時：平成 21 年 5 月 18 日（月） 14：00～17：00

場 所：東京大学総合図書館 大会議室

出席者：別紙のとおり

1. 開会

星野事務局長（東京大学・事務部長）から、文部科学省研究振興局情報課の膝館情報研究推進専門官、国立情報学研究所の米澤学術基盤推進部学術コンテンツ課長にご出席いただく旨、紹介があった。

また、本理事会は新理事による第 1 回の理事会であり、報告事項、会長・副会長選挙、協議事項の順で議事を進め、報告事項の議長は古田会長（東京大学・館長）にお願いする旨説明があった。

2. 会長挨拶

古田会長から開会の挨拶があり、出席者が自己紹介を行った。

3. 前々回及び前回議事要録の確認

古田会長から、秋季理事会（H20.10.17・一橋大学）及び臨時理事会（H20.12.10・東京大学）の議事要録（案）について、既に事前に理事館に送付しご意見を伺っているので朗読は省略するが、会議終了までに訂正等があれば申し出ていただきたいとの依頼があった。

4. 報告事項

(1)各委員会報告

1) 総務委員会

古田総務委員会委員長の代理として東京大学・星野事務部長から配付資料（No.1）に基づき、協会、総会等の見直しや地区助成事業審査等の活動内容について報告があった。

地区助成事業及び委員会の見直し等、当委員会からの提案事項については後ほど協議をお願いしたい、との説明があった。

2) 国立大学図書館協会賞受賞者選考結果報告

大場・協会賞等専門委員会委員長（一橋大学・学術・図書部長）から、配付資料（No.2～3）に基づき、平成 21 年度の応募 3 件について、協会賞審査委員会による審査結果に基づき協会賞等専門委員会で審議を行った結果、筑波大学、岡山大学の活動を採択とした旨報告があった。

### 3) 人材委員会

川瀬人材委員会委員（京都大学・事務部長）から、配付資料（No.4）に基づき、委員会及び小委員会（人材育成事業グループ、人事政策デザイングループ）の活動内容について報告があった。

また、続いて、配付資料（No.5）に基づき、海外派遣者選考委員会の活動内容について、平成 20 年度の派遣事業、平成 21 年度の派遣者選考結果、平成 21 年度以降の海外派遣事業の検討等について報告があった。

### 4) 国際学術コミュニケーション委員会

渡辺国際学術コミュニケーション委員会委員長（一橋大学・館長）から、配付資料（No.6）に基づき、委員会及び GIF プロジェクト、SPARC/JAPAN プロジェクトの活動内容について報告があった。GIF プロジェクトについては、今後委員会ではなく実務作業グループとしての体制が適当との説明があった。

### 5) 学術情報委員会

井上学術情報委員会委員（名古屋大学・情報管理課長）から、配付資料（No.7）に基づき、委員会及び電子ジャーナル・タスクフォース、合同電子ジャーナル・タスクフォースの活動内容について報告があった。

報告を受け、平成 21 年 3 月末に Elsevier 社との交渉の窓口を閉鎖した後、協議に動きがあれば紹介してほしいとの依頼があった。これに対し、Elsevier 社から新提案が提出されたが協議は再開しておらず、現在懸案となっている委員会等組織の見直し後、新体制の下で検討予定であるとの説明があった。

また、平成 16 年度以降の活動を対象とした「電子ジャーナル・コンソーシアム活動報告書」の印刷体刊行について提案があり、了承された。

### 6) 学術情報流通改革検討ワーキンググループ

主査代理として東京大学・星野事務部長から配付資料（No.8）に基づき、電子ジャーナルシンポジウムの開催等の活動内容の報告があった。

## (2) 各地区協会報告

特になし。

## (3) 地区協会助成事業報告

平成 20 年度地区助成事業の対象となった東京・関東甲信越地区（合同）、東海北陸地区、中国四国地区、九州地区の理事館（東京大学・木村総務課長、名古屋大学・井上情報管理課長、広島大学・石井副図書館長、九州大学・益森図書館企画課長）から、配付資料（No.10）に基づき、それぞれの事業内容について報告があった。

(4) 国公立大学図書館協力委員会報告

千葉大学・杉山学術情報課長（国公立大学図書館協力委員会委員長館）から、配付資料（No.11）に基づき、国公立大学図書館協力委員会の活動内容報告があった。

(5) 日本図書館協会関連報告

千葉大学・杉山学術情報課長（日本図書館協会常務理事館）から、配付資料（No.12）に基づき、日本図書館協会大学図書館部会の活動内容報告があった。

(6) その他

事務局（東大・木村総務課長）から、報告資料は協会ホームページ上に掲載し、総会資料（冊子）には掲載しない旨、説明があった。

5. 協議事項

(1) 会長及び副会長選出

星野事務局長の議事進行により投票が行われ、以下のとおり会長・副会長が選出された。

会長： 古田元夫 東京大学附属図書館長

副会長： 藤井譲治 京都大学附属図書館長

引き続き、古田会長から、平成 21 年度の監事館について、以下のとおり紹介があった。

東ブロック： 北海道地区 帯広畜産大学

西ブロック： 東海北陸地区 金沢大学

(2) 理事館の担当について

理事館の担当を決定するに先立ち、事務局から配付資料（No.14）に基づき、理事館担当決定方法について、原則として各地区 2 理事館は同じ事項を担当するが、一部希望によりそれぞれ別の事項を担当できることとしたい旨提案があり、星野事務局長から、担当理事には理事会での発言・提案、関連委員会での事業実施等をお願いしたいとの補足説明があった後、了承された。

引き続き、各理事館の希望調査を行い、集計の結果、以下のとおり担当が決定された。

・総務担当： 東京大学、九州大学、琉球大学

・人材育成担当： 東北大学、山形大学、京都大学、大阪大学、広島大学、香川大学

・国際担当： 一橋大学

・学術情報担当： 北海道大学、北海道教育大学、筑波大学、新潟大学、名古屋大学、愛知教育大学

(3) 委員会の見直しについて

事務局から、配付資料（No.15-17、机上配付資料）に基づき、学術情報流改革検討特別委員会の設置による電子ジャーナル問題関連組織の統合（学術情報委員会提案）国際学術コミュニケーション委員会と学術情報委員会の合同（国際学術コミュニケーション

ョン委員会提案)、  
、 に伴う学術情報委員会の再編(学術情報委員会提案)につ  
いて、提案の説明があった。

この提案に対し、総会での承認後に特別委員会を設置し検討・協議を開始するのでは、各出版社との協議による2010年の電子ジャーナル契約ブリッジモデルの構築に間に合わないとの意見が出された。これを受け、本件は協会として緊急に対応すべき問題なので、本理事会で了承されたら、総会に先立ち特別委員会を組織して、総会では経過報告の上、設置について事後了承を得ることとなった。

上記をふまえた上で、委員会の見直しに関する提案が了承され、総会に諮ることとなった。

#### (4) 地区助成事業の見直しについて

古田総務委員会委員長の代理として東京大学・星野事務部長から、配付資料(No.18)に基づき、これまで2年間、単年度の応募・選考方式で実施してきた地区助成事業について、地区の弾力的な事業実施を促進するため、実施期間2年間で各地区一律30万円を助成費の上限とする申請・事後評価方式にしたいとの提案があり、了承され総会に諮ることとなった。

#### (5) 国立大学図書館協会シンポジウムについて

石井人材委員会・人材育成事業グループ主査(広島大学・副図書館長)から、配付資料(机上配付資料)に基づき、シンポジウム企画(案)について説明があり、了承され総会に諮ることとなった。

#### (6) 平成20年度決算(案)について

事務局から、配付資料(No.19-20)に基づき、平成20年度の協会、記念基金の決算案の報告及びマネジメント・セミナーの会計報告があった。続いて監事館の神戸大学・瀧澤館長から、平成20年度の会計監査の結果について、経理内容は適正であった旨の報告があり、決算案が了承され総会に諮ることとなった。

#### (7) 平成21年度事業計画(案)について

事務局から、配付資料(No.21)に基づき説明があり、本理事会での協議をふまえ一部調整した上で、総会に提案することとなった。

#### (8) 平成21年度予算(案)について

事務局から、配付資料(No.22-23)に基づき予算案について説明があり、本理事会での協議をふまえ以下のとおり一部修正した上で、総会に提案することとなった。

- ・調査研究費 - 委員会： ¥500,000    ¥400,000
- ・調査研究費 - シンポジウム： ¥0    ¥500,000

・活動費 - 学術情報流通改革シンポジウム等開催経費： ¥1,000,000      ¥600,000

(9) 関係団体への役員派遣について

事務局から、配付資料(No.24)に基づき説明があり、案のとおり了承された。

(10) 第56回総会について

1) 日程について

事務局から、配付資料(No.25)に基づき説明があり、案のとおり了承された。

2) 総会の議長団について

古田会長から、議長を筑波大学・植松館長、副議長を信州大学・野村館長にお願いしたいとの提案があり、了承された。

3) ワークショップのテーマ・企画担当について

星野事務局長(総務委員会委員)から、配付資料(No.26)に基づき、各地区協会から提出されたワークショップテーマをとりまとめた結果として、総務委員会の提案について説明があり、提案どおり2テーマとすることが了承された。

また、企画担当地区について、古田会長から以下の提案があり、了承された。

学術情報流通改革における電子ジャーナルおよび学術機関リポジトリの整備  
関東甲信越地区  
学習・教育活動と連携した図書館サービス  
九州地区

4) 館長フォーラムについて

企画・運営担当の新潟大学・矢田館長から、館長フォーラムのテーマ、概要、対象者及び定員、プログラム等について報告があった。

5) マネジメント・セミナーについて

石井人材委員会・人材育成事業グループ主査(広島大学・副図書館長)から、配付資料(No.27)に基づき説明があり、実施要領(案)のとおり了承された。

6) オブザーバについて

事務局から総会オブザーバについて以下のとおり報告・提案があり、それぞれの出席が了承された。

- ・高エネルギー加速器研究機構、国立歴史民俗博物館、国立女性教育会館、国立天文台、国立極地研究所に、例年通りオブザーバ出席の案内文書を会長名にて送付した。
- ・国立情報学研究所学術基盤推進部は、協会事業と関連が深いので、例年通り出席を依頼したい。

(11) 第 57 回総会の当番館・日程等について

次回総会当番地区理事館である北海道大学・藏野事務部長から、配付資料(No.28)に基づき説明があった。

当番館は北海道大学附属図書館、日程は第 56 回同様、金曜日の午後に総会・懇親会を開催し、翌土曜日に館長フォーラム及びマネジメント・セミナーを実施する予定とのことであった。

関連して事務局から、配付資料(No.29)に基づき、平成 22 年度以降の総会開催地区ローテーション(案)について説明があった。協議の結果、東北地区の次に関東甲信越とすることで、総会に提案することとなった。

(12) その他

特になし。

6. その他

古田会長から、前回議事要録(案)について、訂正等がないかどうかの確認があり、承認された。

また、事務局から、配付資料(No.30)に基づき、協会の今後のスケジュールについて説明があった。

7. 閉会

国立大学図書館協会新理事会 出席者

平成 21 年 5 月 18 日 (月)

14 : 00 ~ 17 : 00

東京大学附属図書館大会議室

北海道大学	館 長 事務部長 情報管理課長	逸見 勝 亮 藏野 由美子 加徳 健 三
北海道教育大学	館 長 学術情報室長	山本 光 朗 阿部 実 次
東北大学	館 長 事務部長 総務課長	野家 啓 一 片山 俊 治 加藤 信 哉
山形大学	館 長	原 慶 明
筑波大学	館 長 副館長 情報管理課長 情報サービス課長	植松 貞 夫 田中 成 直 関川 雅 彦 上原 正 隆
新潟大学	館 長 学術情報部長 学術情報管理課長	矢田 俊 文 友光 健 二 大石 博 昭
東京大学	館 長 事務部長 総務課長 情報管理課長 情報サービス課長 工学系・情報理工学系等情報図書グループ長 教養学部等図書課長	古田 元 夫 星野 雅 英 木村 優 尾城 孝 一 鈴木 秀 樹 高橋 努 市村 櫻 子
一橋大学	館 長 学術・図書部長 学術情報課長	渡辺 雅 男 大場 高 志 渡邊 俊 彦
名古屋大学	事務部長 情報管理課長	栃谷 泰 文 井上 修

愛知教育大学	情報図書課長	三宅育夫
京都大学	館長 事務部長 総務課長 情報サービス課長	藤井讓治 川瀬正幸 木下聡 西山常清
大阪大学	館長 事務部長 図書館企画課長	小泉潤二 細戸康治 白木俊男
広島大学	館長 副図書館長 図書学術情報企画グループリーダー	佐藤正樹 石井道悦 藤井明
香川大学	館長 学術部長 情報図書グループリーダー	前田肇 伊藤公明 北條充敏
九州大学	館長 事務部長 図書館企画課長	丸野俊一 濱崎修一 益森治巳
琉球大学	館長 事務部長 情報サービス課長	成富研二 金城孝夫 舟本幸福
(監事館)		
千葉大学	館長 情報部学術情報課長	西村靖敬 杉山宗武
神戸大学	館長 事務部長 情報管理課長	瀧澤栄治 三原英夫 奥田正義
(オブザーバ)		
文部科学省研究振興局 情報課学術基盤整備室	情報研究推進専門官	膝館俊広
国立情報学研究所 学術基盤推進部	学術コンテンツ課長	米澤誠